

1989

8

No.385

広報

入善町

うちわ片手に夏祭り号

水キラキラ
町いきいき入善

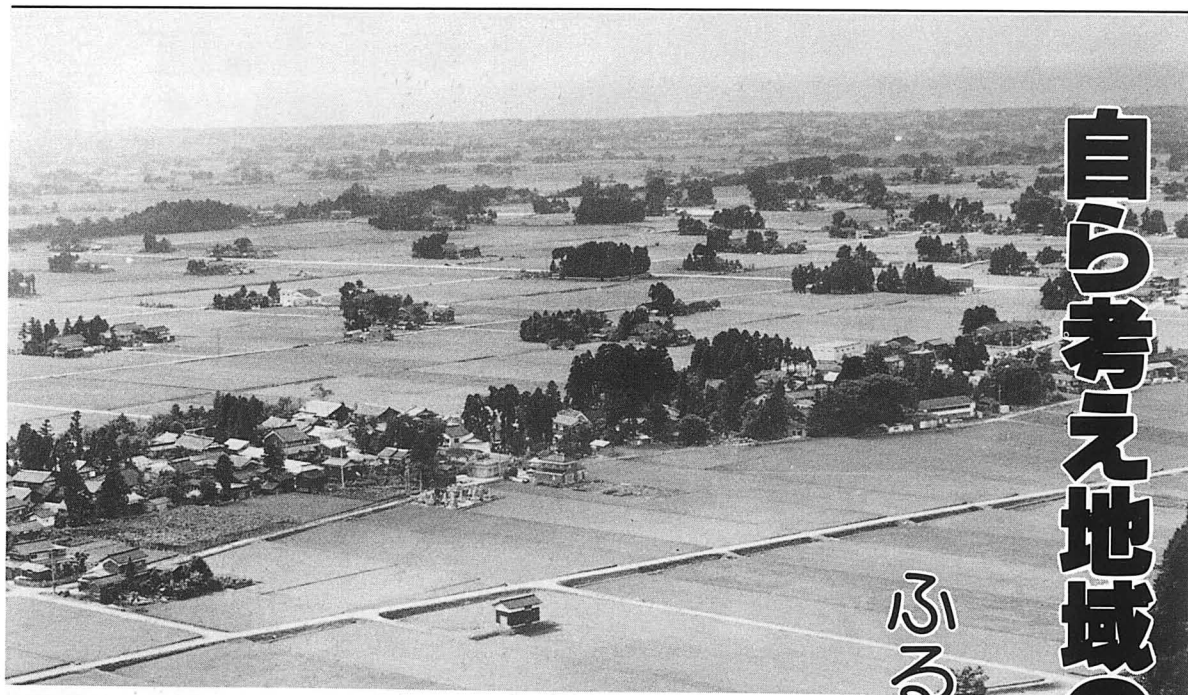
●発行/入善町役場 ☎939-06 富山県下新川郡入善町入膳3255 ☎0765(72)1100 FAX 0765(74)0067 ●編集/総務課

■町のイメージアップ作戦

PART. 16 園家山キャンプ場

楽しくないわけがない。釣りにキャンプにバーベキュー。海があつて森がある。そして天下の掘りぬきの水。いったい何拍子そろえば気が済むんだ？…波状攻撃はまだ続く。高台には一等三角点が隠れているという。バンガローや野外ステージも建つという。何てことだ、遊びきれないじゃないか。





自ら考え地域の個性を伸ばそう

ふるさと創生事業をまね

「市町村の知恵くらべ」とも言われ、いろんな話題を振りまいた「一億円」。その使い道に、多くの方々が関心を持たれたことでしょう。町での取り組みを紹介し、今後のまちづくりにどうかかわってくるのかを考えてみます。

市町村の知恵くらべ

全国には、約3千3百の市町村があります。ふるさと創生一億円事業は、正式名称を「みずか自ら考え自ら行う地域づくり事業」と呼ばれています。それぞれの地域で知恵を出し、金は出すが口は出さない^①を原則に政府は昭和63年度と平成元年度合わせて一億円を地方交付税として交

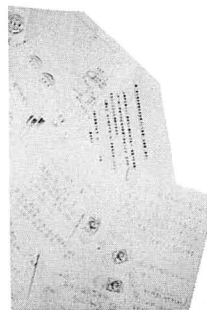
付しています。

これからの地域づくりは、地域間の交流・競争の中から、自然や文化に特色を持たせ、個性を出さなければなりません。「一億円をどう使うか」地方の時代の知恵くらべを国がさせているとも言えます。入善町の予算は、全部で約100億円。一億円は使い方によっては、大きいとも言えるし、小さいとも言えます。国からのいわばボーナスのようなものです。町は財政的に自由に使える予算枠が少ないので、「血税」として、慎重に事業を選ぶことが大切です。

広報2月号で、町民の皆さんからアイデアを募集しました。全部で184件（役場職員から143件）の応募があり、審議

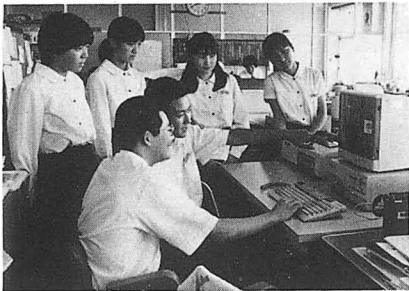
貴重な提案

ありがとうございました。



広報2月号で、ふるさと創生のアイデアを募集したところ、町民の皆さんから全部で43件のアイデアが寄せられました。入善町ならではの特色を生かした夢のある提案が目を見ました。ふるさと創生事業に限らず、これからのまちづくりに向けて大いに反映させたいと考えています。ありがとうございました。

を重ねてきました。63年度分（2千万円）は、ベーゼンドルファーピアノを購入・各小中学校へのパソコンの導入そして、舟見山リゾート開発の調査費に使っています。新たに平成元年度分として、6月定例議会で9件・6千万円の事業が決まりました。ある町では、一億円の金塊を購入し、一躍有名になった所もあります。しかし、使い道を任せられ、決めかねている町も多く、自分の町を真剣に考える良い機会になっています。



▲各小中学校に配置されたパソコン

①せかせかもん……せつちな人。旅行シーズン。汽車に乗ったら、すぐ降りる準備をする。宿に着いたら、寝る準備。寝るときには、靴下はいて起きる準備。そんな家に帰りたきや、来んによい。

平成元年度ふるさと創生事業（6月議会で決定したもの）

「入善米の日」設置事業	小・中学校の給食に各学校に10回、地元のおいしい入善米を提供し、基幹産業への認識を深める。	1,202
イメージアップ・シンボルタワー設置等	町のPRとイメージアップを図るため、シンボル塔の設置、ポスター、道路マップ、キャリイバックなどをあらたに作成する。	18,809
幹線道路網整備計画策定費	町道の延長は457キロメートルで、舗装率も83パーセント、基本計画・整備計画を策定し、重要度に応じて1級・2級を見直す。	5,030
舟見リゾート関連道路整備事業	舟見山リゾート開発に関連して民間が建設する宿泊施設への進入道路の改良工事を行う。	17,000
河川敷整備計画策定費	青野公園をはじめとする河川敷の有効利用を検討し、基本計画を作成するとともに園路の整備を図る。	5,578
キャプテンシステム導入事業	庁舎ロビーに端末機器を設置し、各種の情報利用と町の紹介を行う。地域情報化に対応する新しい分野の事業。	980
園家山キャンプ場整備事業	園家山キャンプ場南側にバンガロー（キャンプ用の簡単な小屋）を4棟設置し、キャンプ場の充実を図る。	10,000
ウォークベースボール普及事業	町が開発したウォークベースボールの普及を図るため用具を充実し、他市町村や各団体へ貸し出す。	3,400
町勢要覧発行事業	姉妹都市など国際交流の推進をよりいっそう高めるために、町勢要覧の改訂とともに英語版を1000部発行する。	4,120

大きく育てよう

たくさんの提案の中から、担当の企画財政課において、
 ①地域の個性を打ち出すために、町の長所をより一層伸ばすこと
 ②事業を一点に絞らず、多様化した町民ニーズに応えることを基本に作業を進めました。

一億円すべてを基金積みたてたり、かねて計画中の事業に充当する町もありますが、入善町では、いろんなジャンルに分けられています。情報化、高齢化、国際化など、社会の急激な変化に対応するには、一点豪華主義的な使い方を排除せざるを得ません。ふるさと創生事業は、今回限りとの判断で、「今、町にとって本当に必要なものは何かを考えた」と担当の山本利夫課長は説明しています。

一億円の事業が実施されても直ちに町の活性化につながるものはありません。「これがふるさと創生になるのか」と、批判的な意見もあると思いますが、播かぬ種は生えぬのたとえのとおり、町民の皆さんの手で大きく育てて、魅力あふれる町にしたいものです。ふるさと創生は、地域間競争のスタートラインについたといえます。

町民参加の町政を

町の財政事情は決して裕福ではありません。一億円の使い方によっては、あとあと、経費の増大になる恐れがあります。ふるさと創生事業を大きく育てるためには、「どうすれば住みよい町になるのか」を町も町民の皆さんと一体となって考えることが必要です。国の財源も、消費税の導入で不安定な状態となっています。国庫補助負担率の増

や地方への権限の委譲などによって、地方財政の確立がなければ、真のふるさと創生はむずかしいとも言えます。

町には、豊かな自然、勤勉な町民そして多くの社会資本の蓄積があります。これらの財産をフルに活用し、21世紀に向けて地域の個性を伸ばさなければなりません。ふるさと創生に関して町民の皆さんからの提案は、貴重なものであり、策定作業に入った町民総合計画の中でも十分生かしたいものです。

新総合計画策定事務局スタート

21世紀の入善をめざし

「総合ふるさと創生事業」ともいって新しく新しい長期計画の策定にとりかかるため、7月から役場企画財政課内に策定事務局を設置しました。担当の企画係のほか、庁内の若手スタッフ5名を事務局員として計画づくりの作業を進めていきます。

今までの計画は平成2年度をもって計画期間が満了となるた

計画の具体的な中身については白紙ですが、社会構造の変化に対応しながら、文化のまちづくりの一層の推進と、豊かな本町の資源を生かしての、個性あふれる魅力的な生活空間を築くことをめざします。



総合計画についてのご意見やお問い合わせがありましたら、
 役場・企画財政課企画係
 ☎72-1100（内線221）
 までご連絡ください。

●こつぱいこく……骨灰こく。さんさんの目にあうこと。どこへ買ひものに行つても消費税を払わされる。貯まるお金は1円玉。1円を笑う者は1円に泣く。

元年まちおこしメニュー

— ふるさと創生 —

6月の町議会で決まった「ふるさと創生事業」の内容をご紹介します。どの事業も町の活性化には不可欠で、今後も積極的な取り組みが望めます。

まちの観光PRのために

町の観光宣伝には、これまでもいろいろな形で取り組んできましたが、今一歩、力不足の感がありました。今後はいろいろな手段を駆使して、町の素晴らしいところを町外の人たちにも知ってもらうことにしました。その作戦の一部をここで皆さんに紹介します。

● シンボルタワー

町の特産品などを大きく表したシンボルタワー。現在、8号線沿いに4基設置されていますが、今度は新たに北陸自動車道沿いに高さ17mのタワーを2基

設置します。町外のドライバーに一目で町の特産品を知ってもらうのが目的です。

● ステッカー

ご存知「水キラキラ、町いきいき入善」のステッカーを各家庭に一枚ずつ配布します。玄関先や商店のウインドウなど目立つところには貼ってみてください。町民のみなさんのご協力で水のPRを展開することになります。



海あり、山あり



寺崎 寛さん
(入善6区・52歳)

商工会内で組織する観光委員会に入っています。入善町は観光資源が乏しいと決めつけているのではないかと。豊かな自然に恵まれているため、その良さに気づいていないだけです。掘り起こし手を加え、PRすれば、日本海側随一の観光地です。

● 観光ポスター・バッグ

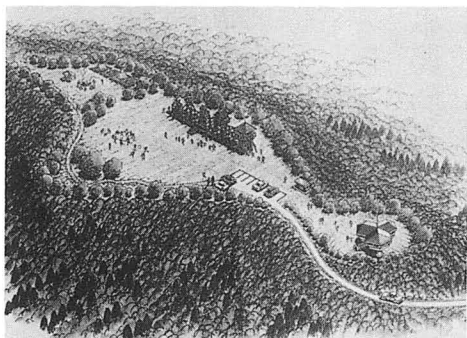
壮麗でエキゾチックな町民会館の回廊と、黒部川の清流をイメージした2種類の観光ポスターを用意し、JRや商工会などを通じて各地で展示します。また、図柄を両側に配したキャリーバッグを作成し、入善を訪れた人たちへの手みやげにしています。

● PR壁画

JR線沿いの民家や倉庫の壁画を利用し、ジャンボ西瓜などの特産物を描いたPR壁画を作成します。電車の窓から、入善町の印象づけをねらうものです。これらのほかにも、新しい観光道路マップや名水をイメージ

した入善グッズなども現在検討中です。

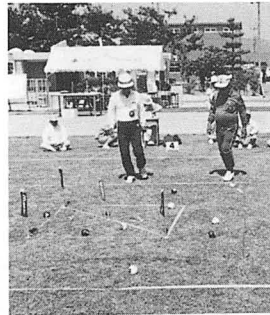
観光面で忘れてならないのが舟見山自然公園。この公園は、「とやま森林浴の森」や、自治省が提唱した「ふるさとづくり特別対策事業」にも指定されています。温泉を利用したクアリゾートやゴルフ場など、民間による開発もすすめられ、豊かな自然環境を生かした観光、レクリエーションの拠点として大いに期待されています。町では、公園に通じる道路や遊歩道、駐車場や休憩展望台などを順次に整備し、皆さんに親しまれる舟見山の早期完成を目指します。



▶ 舟見山がもっと楽しくなります。

●ばんぶつ……重量挙げ。100kg以上もある大石を肩まで持ちあげる。ヒザまではロープ使っても良い。力持ちが少なくなり夏の風物もすたれがち。

平成



園家山キャンプ場南側にバンガローが4棟建てられます。丸太小屋風の平屋で、1棟あたり8〜9人の宿泊が可能。森林浴やバーベキュー、近くの海辺で水遊びを楽しんだり、今年中に野外ステージも建設されること

健康とスポーツの増進

から、富山湾沿いで有数の健康リゾート地として親しまれることでしょう。今秋にも完成の予定です。4月から11月頃まで利用が可能のため、利用客が一段と増えるものと期待されます。

6年前に町で開発されたウォークベースボールは、気軽なスポーツとして全国的に注目されています。町技としての位置づけを図るため、用具60セットを新たに購入して各団体に貸与します。また、講習用ビデオやルールブックを作成し、全国的な普及を図ります。

おいしい入善米を子供たちに

いまさら言うまでもありませんが、入善米コシヒカリのおいしさは全国でもピカ一。同じ入善町に住んではいても、純粋に入善米を食べているのは生産者である農家の人たちくらいで、全町民の半分にも満たないと言われています。地元の人たち、特に子どもたちに入善米のおいしさを分かってもらおうと、各小中学校の給食においしい入善米が登場します。今回初の試みですが、今後もこのような消費

拡大を通して町の基幹産業である農業の振興を図っていく考えです。



戸出 央君
(舟見小・6年)

ごはん大好き健康家族

一週間に3回、ごはんの給食が出ます。僕は好ききらいがなく何でも食べますが、やっぱりパンよりごはんの方が好きです。「コシヒカリ」という名前は知っていますが、入善のお米はどんな味がするのか。早く給食に出てこないか楽しみです。

河川敷や道路の理想を描く



行政に対する要望の中で最も関心の高いのが道路整備。一口に道路と言ってもさまざまな機能があり、人や車の流れはもとより町並形成にも影響を及ぼします。21世紀に向けた町道の見直しとともに、10年間の基本計画、5年間の整備計画を策定するための調査をします。

河川敷では、ミニゴルフ場やモトクロス場など、いろんな利用が可能です。現在ある河川敷公園の見直しとネットワーキ化を図るため、今年度中に本格的な調査を実施します。

情報化と国際化の推進

入善町はもちろんのこと、全国の最新情報を素早くキャッチするため、キャプテンシステムを導入します。タウンガイド、施設案内、サークル紹介などが

ボタン一つで画面に写し出されます。入善町に関するあらゆる情報をキャプテン情報センターに入力することによって、町のイメージを全国にPRすることができま。今月中にも、庁舎ロビーに設置の予定です。

フォーレスト市との友好も順調に進んでおり、これからも国際交流がますます盛んになってきます。すばらしい入善町を外国の方々にも知ってもらうため、英語版の町勢要覧を作成しま。



●でやーま……奥さん・主婦をさす。けんそん語で「うちの愚妻」という程度。でやーまの表現には、最愛の妻という意味もあり、なんともほほえましい。

——まず自己紹介してください。
 吉岡 生まれは大阪市の西成区ですが、現在は大阪市と和歌山市の間に位置する泉大津市に住んでいます。人口約7万人、昔から繊維産業が盛んで、毛布の生産は全国の9割を占めています。大阪商人独特の気質というのは今も昔も変わりませぬね。
 ——こちらの印象は？
 吉岡 富山といえば薬が有名ですね。昔から売薬さんが全国を歩き回っていたため、各地か



「テレビ寺子屋」の公開録画に講師として来町した児童文化研究家の吉岡たすく先生。講演のため全国を渡り歩く忙しい毎日。「各地の土地柄を知るのが楽しいですね」と話します。

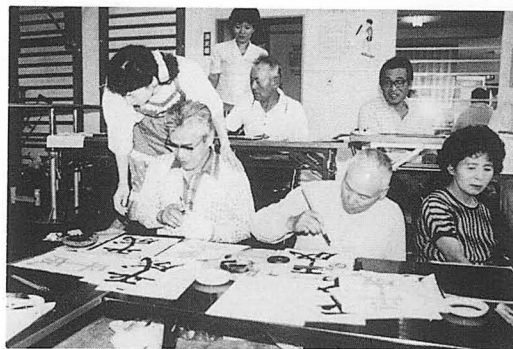


← おめでとう満100歳 町で最高齢者の上田さん

入善6区にお住まいの上田寅次郎さんが7月1日、満百歳の誕生日を迎えられ、県知事や町長らから祝い品などが贈られました。目や耳もまだまだ確かでお元気そのもの、長寿の秘訣は夕食時にたしなむ少々のワイン。民謡が好きで、90歳頃まで盆踊りの音頭取りをしていたとか。「長生きできたのも皆さんのおかげです」と感激の様子。

自分でもびっくり → リハビリで書道に挑戦

「指先や腕、頭も使う書道を機能訓練に生かそう」と、脳卒中後遺症のある方々のための書道教室が7月13日、健康センターで開かれました。題は「平成」。初めは手がスムーズに動かない様子でしたが、何度も練習するうち成果が表れ、りっぱな作品ができました。「思ったよりうまく書けた」と、皆さんの満足げな顔がさわやかです。



入善町消防団小摺戸分団が、8月2日に県消防学校で開かれる消防操法の県大会に出場します。「気をつけ」「整列」「操作始め」。6月20日から連夜、仕事を終えてからの疲れも見せず32名の団員一同が黒東小グラウンドで特訓に励みました。この大会では過去に何度も上位入賞を果しており、「今度こそは優勝を」と真剣なまなざし。

消防操法県大会に向け特訓

← 頼れる男たちです



かめら・とびくす カメラ・トピックス かめら・とびくす

住所 氏名 年齢 世帯主
 上飯野新松島 廣作 68 本人

おくやみ
 (敬称略)



春	青	浦	青	桐	入	上	春	入	入	入	桐	芦	入	吉	春	舟	芦	入	住
日	木	新	木	山	膳	膳	膳	膳	膳	膳	山	崎	区	原	日	見	崎	区	所
真	松	市	村	宮	山	佐	高	浜	若	上	吉	木	廣	林	藤	德	高	小	保
岩	田	森	上	田	本	々	櫻	西	島	島	原	原	井	繁	田	道	濱	林	護
一	康	孝	直	市	雅	木	大	正	正	考	高	文	文	幸	由	豊	満	満	者
夫	弘	義	秀	郎	美	勝	信	美	美	司	志	宏	樹	晴	彦	豊	豊	満	者
長	長	長	二	三	長	二	二	長	二	長	三	二	二	二	二	二	二	長	続
女	男	女	男	女	男	男	男	女	男	女	男	女	女	女	女	女	女	女	柄
彩	宜	一	雅	愛	和	成	大	あ	雄	綾	大	佳	夏	亞	真	里	名	前	
香	己	洋	樹	美	毅	未	智	や	乃	大	翼	奈	海	利	遙	吾	美		

あかちゃん
 (敬称略)

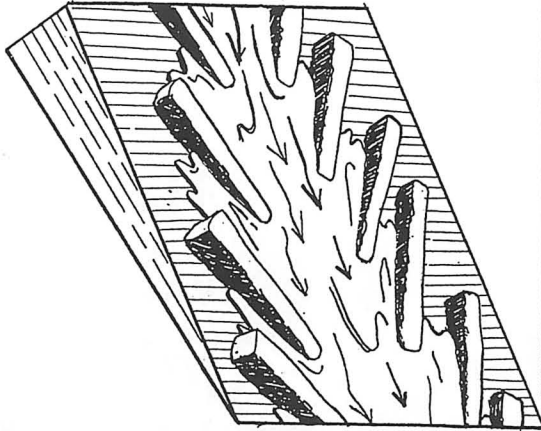


①いいですちゃ……どっちともとれる語②気を使わなくとも結構・お断わりします③それでよろしいです。了解しました。④便利で調子はいいいですちゃ。

ふるさと歴史

黒部川の治水〔Ⅲ〕

No.30



急流の黒部川にはこれに適する堤防（川除）が築かれていた。これは長い一本の堤防を完全にしめ切るものでなく、何本もの不連続な堤防を配置して、洪水の被害を防ぐいわゆる「霞堤」であった。

これは図のように河川に対して斜めにつき出した堤防を平行に並べるものである。堤防が連続していないため、増水した水は堤防の裏側にあふれていた。しかし、これによって川幅はひろまり、水の流れを弱めることができた。

堤防の裏側に溢れた水は本流の流量が減ると自然に本川へ還流することから、昨年コスモホールで講演した富山和子女史は、霞堤の流量調節機能を「水の時差出勤」だと述べていた。河川に勾配がないところでは溢れた水は洪水被害を生むだけで、このような効果は期待することはできない。

黒部川は下流部でも勾配が強いから、笹原や蛇沢などの村囲いの堤防も霞堤であった。村囲いの堤防でも勾配があるから水が逆流する恐れがなく、下流部には堤防が築かれず、村全体を囲む濃美平野の輪中の村とは異なる様相を呈していた。

入善町文化財保護調査委員
奥田 淳爾さん（吉原）

らの情報が集まりやすい地域性があつたと考えています。今でも情報に敏感な人たちが多いのではないのでしょうか。

富山県を訪れたのはこれで30回目ですが、入善は初めてです。チューリップがきれいだと言っていました。横に長い大きなスイカが入善のジャンボ西瓜だと初めて知りました。ぜひ食べてみたいですね。コスモホールに集まったお客さんはみんな屈託のない笑顔ばかり。何か暖かいものを感じました。

今後の抱負は？

吉岡 テレビのレギュラー番組出演のほかに、幼稚園や小・中学校での巡回講演、執筆活動と忙しい毎日が続きますが、皆さんと共に子供の将来を考えながら、日本の明日を見つけていきたいと思っています。

かめら・とびくすカメラ・トビックス かめら・とびくす

現代っ子ってなあに？ 飯野小の祖父母学級



「おじいちゃん、この竹どうやって削るがけ？」。6月30日に飯野小学校で開かれた祖父母学級での一コマです。

全校児童と約200人の祖父母が参加。竹トンボ、水鉄砲、竹馬などの竹細工や七夕飾りを作ったり、一緒にもちつきをしたりしながら楽しいひとときを過ごしました。

はさみや小刀を使っただけの工作はおじいちゃんやおばあちゃんの得意な分野。アドバイスを受けながら悪戦苦闘が続きます。一時間ほどかけて作った竹とんぼ。元気よく宙を舞いました。

上野	上野	上野	飯野	新屋	横山	笹原	下野	梶山	横山	青木	下野	高島	芦崎	下見	舟木	青木	上野
柳澤	川縁	永田	島田	渡邊	永山	竹田	一島	國枝	亀田	大沼	前田	清水	飯澤	鍋嶋	鍋嶋	今井	山下
金次郎	由松	やよ	良造	キミ子	左衛門	ツヤ	五郎	東蔵	よし	豊治	源次郎	アヤ	ふさ	宅次郎	はな	清秀	榮作
72	87	91	84	63	86	86	84	74	82	76	81	73	87	85	87	70	81
本	本	秋	本	本	保	久	宗	本	啓	本	本	信	清	本	本	本	政
人	人	信	人	人	一	夫	吉	人	作	人	人	三	一	人	人	人	弘

●しごとはおーぜーまいもんなこぜー……都合のよいこと。仕事は大勢の方が良いし、ご馳走は小人数で食べると良い。ジャンボ西瓜は大勢でも十分食べれる。

新世紀に向けさらに躍進

創立25周年を迎えて

富山県 指定回地 入善機械工業センター



役場から国道8号線に沿って西へ2kmほど行くと、左手に入善機械工業センターが見えます。昭和39年に創立して以来、今年でちょうど25周年。今後も各方面から期待が寄せられ、いつその発展を目指しています。同センター協同組合理事長の福沢三郎さん（福沢精密工業㈱社長）にお話を伺いました。

町民の期待を

担って創立

——どんな目的で創立されたのですか

福沢 かつての入善町の産業は農業が中心でしたが、やがて近代化が進むと農業に従事する人はそれほど必要でなくなり、働き手が余ってきました。入善町は古くから「農工一体の町」を目指していたこともあり、余剰労働力の活用と雇用の確保を図るため、町が敷地の整備などをして企業を誘致したのです。センターの完成とともに、我社も含めて10社が操業を開始しました。他市町村への人口の流出を防ぐという点でも、その役割

を担ってきたと聞いています。

——創立して25年。いろいろな苦労もあったと思いますが福沢 創立した年の昭和39年といえば不況のどん底でした。上部の関連企業の生産縮小に伴い、我々中小企業側の受注も極端に減りました。このように決して明るいスタートではなかったのです。それから今日まで、やむなく経営の委譲や吸収合併などもありましたが、町当局の熱心な援助などにもよって、何とか今日までの成長を果たすことができました。

——現在、何人くらいの方々が働いているのですか

福沢 200名余りの従業員が同センターの工場内で働いています。その内、9割近くが地

お知らせ



案内

ごはん大好き
健康家族！

「米サミット」開催

▼日時：8月19日(土)午後1時から午後4時30分まで。

▼会場：町民会館コスモホール

基調講演
「日本の米は世界一」
千葉大学法経学部長
唯是 康彦

出席者

入善町中核農家連絡協議会長

米山 誠一

城端町野口営農組合長

山下 信一

入善町農協副組合長

鬼原 六義

関西入善会婦人部長

松田より子

サミット(討論会)

水嶋 一雄

質疑応答

日本大学助教

水嶋 一雄

※入場無料
多数の参加をお待ちします。

▼主催

入善町

入善町農業協同組合

黒部川扇状地地域社会研究所

町長選・町議選 投票日は10月15日

1. 選挙の執行期日

任期満了に伴う町長・町議会議員選挙は、7月20日開催された入善町選挙管理委員会（委員長・塚田正蔵）において、来る10月15日同時に行うことが決定されました。なお、任期はそれぞれ、町長・10月17日、町議会議員・10月29日です。

2. 選挙の告示日は10月10日

選挙運動が適法に行うことができる期日は10月10日の告示日から5日間になります。

3. 選挙に伴う選挙人名簿の登録

登録の日 10月9日

4. 選挙人名簿の縦覧期間

縦覧期間 10月10日から10月11日まで。

天災は忘れたころに…

昭和44年8月洪水から20年

何時の日か来るかもしれない大洪水。水防活動の体制づくり、緊急避難など日常からの心掛け、そして黒部川へ目を向けましょう。

黒部川に関するお問い合わせは……

建設省黒部工事事務所 ☎(52) 1122
建設省黒部川出張所 ☎(52) 0471
役場建設課 ☎(72) 1100



あたたかいご芳志に感謝いたします。

(6月11日～7月10日)

富山県移動商業組合 富山支部	10,000	観音祭の収益金を「愛と和」の一収入をためて
富山第一銀行労働組合 魚津支部支部長金森直司	46,580	小銭をためて
浅倉 仙吉	22,478	5～6月分
入膳 匿 名	20,000	

上野	能登	青木
ウメゼン工業(株) (建設予定)	入善精密鍛造(株)	
内山機工(株)	田中技研工業(株)	
(株)松本鉄工所	福沢精密工業(株)	
(有)西島鉄工所	津根精機(株)	
入善精工(株)		

←朝日 国道8号線 黒部→

■創設…昭和39年5月16日

富山県機械工業センター連合会に加盟する工場団地としては、県内で4番目の創立。

■敷地面積…約18,500坪

元入善町の人たちです。まだ人手が不足の状態なので、これからも人材確保に努めたいですね。このような工場団地にはどんなメリットがあるのですか。福沢 工場増設などで多額の資金が必要になった場合、融資を受けるときに一社の企業だけでは限界があります。各社が集った機械工業センターを一つの会社に見立ててお金を借りれば資金面で大変有利です。各社合同で「安全委員会」を組織してお互いの工場の危険箇所をチェックし合ったりもします。業種は異なっても、良い意味での競争相手となり、お互いの向上につながります。今後の展望は？

福沢 現在、センター内で9社が操業中ですが、近々、電子部品メーカーがもう1社、操業を開始する予定です。センター内の中央道路や水路が整備されています。今は好況な時期なので、これを期に設備の拡充を図ります。毎年、各工場の敷地内に桜やこぶしの植樹をしています。緑あふれる職場をめざし、環境美化には十分力を注いでいます。北陸自動車道の全線開通に伴い、全国へ向けてシェアの拡大を図ると同時に、設備の自動化、拡充を進めています。各社団結のもとに地域に密着し、町の産業の発展に少しでも貢献できれば幸いです。

お知らせ

レッツ・ダンス 盆踊りの夕べ

町教育委員会では、初めての試みとして「盆踊り大会」を開きます。6月から開かれた「入善盆踊り音頭教室」の成果の披露をかねての開催です。参加は自由、楽しい真夏の夜をご一緒に！
▼日時：8月9日(水)夜7時半
▼場所：入善町民会館イベント広場▼服装等：浴衣や法被、手拭等、盆踊りらしい服装ならOK



若者のための 初心者ゴルフ教室

本年度から始まる中央青年学級。その第一弾がゴルフ教室。さあ、友達を誘って参加しよう。

9/21(木) 9/28(木) 10/5(木)	9/7(木) 9/14(木)
・インストラクターによるバックティー指導 (黒部イオンゴルフ練習場)	・ルールとマナー ・スウィングの基本 (町民会館視聴覚室)
19:30～21:30	19:30～21:00

▼受講資格：町内在住の18歳～25歳までの男女50名(学生除く)
▼受講料：2千円▼申込期間：8月1日(火)～8月25日(金)▼申込先：入善町民会館内生涯学習課
☎72-11100(内611)

●しょうてつ……原液。そのまま薄めてないもの。梅酒の「しょうてつ」は強いので、冷たい水で割って飲む。夏の元氣回復に一番良い。



私たちの広場

「あれ? なんか変だなあ…」



イラスト
滝本 弘美さん
(東狐・18歳)

ご意見などを
お寄せください

この広場は――

●ご意見 ●イラストやマンガ ●グループの紹介 ●私の趣味……などに利用したいと考えます。

紙上匿名は自由ですが、原稿には必ず住所・氏名を明記してください。

広報担当係 ☎72-1100
内線 203

石垣三良さんのお宅には、親子3匹のヤギが仲良く同居しています。お父さんの名前は「ヒゲ」、お母さんは「すみれ」、そしてこの春、2匹の間に「太郎」君が生まれました。みんな元気いっぱい。間もなく入善で撮影が始まる映画「少年時代」に登場する話も持ち上がっています。



石垣三良さん
(浦山新・69歳)

町で唯一ヤギを飼育



▲子ヤギの「太郎」君といっしょに。

現在、入善町でヤギを飼っているのは石垣さんだけとのこと。過去に牛や豚、にわとりなども飼っていましたが、世話が大変なためみんなやめてしまいました。かといって、何も家畜がないというのも寂しく、5年前農業雑誌での紹介を頼りに、長

野県下伊那郡の市場で2匹の子ヤギを買ってきたのが始まりです。

「メー、メー」と目を細くして寄り添ってくる姿がかわいらしくてね、ヤギは本当にいい家畜です。衛生的に問題は無いし、えさにも困りません。紙だつて食べてしまうんです。何よりも、お乳の味と栄養は満点です」と得意げに話す石垣さん。

一日一回、お母さんヤギから1200ccほどのお乳をしぼります。そのまま飲んでも平気ですが、布で一度こしてから60度くらいの熱を加えて殺菌し、ビンにつめて冷蔵庫で保管します。牛乳に比べて脂肪分が多く、「じょうぶな体をつくるならヤギの乳が一番」と太鼓判を押す石垣さん。3歳と5歳になる2人のお孫さんも、毎朝飲んでいるおかげで元気はつらつです。

8月の日替り定食メニュー ¥650 (AM11:30~PM 1:30)

1 (肉) 豚肉の味噌焼	13 (休) <定休日>	25 (食) 豚肉の生姜焼
2 (肉) とり唐あげと野菜煮	14 (月) カルトメニュー	26 (出) おこのみ焼サラダ
3 (肉) あげ出し豆腐	15 (火) } で営業します	27 (日) <定休日>
4 (食) 茄子の炒めもの	16 (水)	28 (月) イカ丸焼
5 (出) スムウティとスープ	17 (木) うな重	29 (火) 干物と酢の物
6 (日) <定休日> 夜営業	18 (金) 手羽先煮込み	30 (水) グラタン
7 (月) メンチカツ	19 (土) おかゆ	31 (木) エビ重
8 (火) ソーメン	20 (日) <定休日>	
9 (水) オムレツ	21 (月) ハンバーグ	
10 (木) 八宝菜	22 (火) 魚の煮付	
11 (金) 柳川鍋	23 (水) とり重	
12 (土) 白身のあんかけ	24 (木) 田舎料理	

喰処・呑処
蔵菜 CLASS
☎72-0085
PM 5:00~10:00

<富山発着・特選ツアー>

★ソウル4日間 116,000円
10/20(金)~23(日)

★済州島3日間 96,000円
11/18(土)~20(日)

★釜山・慶州・ソウル4日間 118,000円
11/24(金)~27(日)

日曜・祝日も営業しております。 ニュージャパントラベル
TEL 74-0151(代)

●じゃがら……ジャガイモのこと。「じゃがらになる」とは、海水浴に行つて、背中がむけること。夏休みです。宿題は早めにすませ、元気に遊ぼう。

グループ登場

元気旺盛、粋なロックバンド

ELLE DECHIC

(エル・ド・シック)

音楽にはいろんなジャンルがありますが、ここで紹介するグループ「エル・ド・シック」はパンクロックと呼ばれ、「歌って踊れる楽しい音楽」を目指して活動しています。

バーの中にも女の子が1名いますが、決して彼女のことを意味しているわけではありませんよ」と、笑いながら話します。

バンド名「エル・ド・シック」は、フランス語で「粋な女」のことを言います。名付けたのは、リーダーでドラムを担当する長谷川将則さん(小摺戸)。「メン



▲ほとんどエクスタシーの境地。

紹介し合い、それぞれが担当する楽器に合わせて編曲していきます。1時間もあれば新しい曲が出来上がること。詩の内容はいたって抽象的。意味不明の文句が飛び出したり、「愛」や「恋」などの言葉が出てこないのも特徴です。アマチュアバンドコンテストにも何度か出場し、「自分たちの音楽を認めてもらいたい」とはりきっています。



▲奥さんの和美さんと長女の菜見子ちゃん(4歳)もいっしょ。優しいパパを囲んで。

「何かやってみたいなと思ったらすぐに飛びつく性格なんです」と笑顔で話す松平さん。ハングライダーを初めたのも単に「空を飛んでみたかったから」と単純明快。雑誌で石川県に初心者のためのスクールがあることを知り、さっそく入校。大学生がほとんどですが、中には定年退職間もない50代の男性もいっしょだったとか。

「空を飛んでいると、地球と会話を交わしているような気分です。少しでも高く、より長く飛び続けることしか考えません。娘が大きくなったらいっしょに空中散歩を楽しみたいですね」と顔をほころばせます。

“大空を翔る”



松平 康範さん (青木・34歳)

習し、徐々に高い所から飛び立って飛行術を身につけます。わずか3日間の講習だけで、自由に操縦できるようになります。「200Mほどの山から飛び立っても上昇気流にうまく乗れば2KMくらいの高さまで上り、4時間近くも飛び続けることができます」と説明します。幅10メートルほどの翼にぶら下がった格好で飛び、体を前後左右に動かして重心を変えることによって、方向やスピードを調節します。空中で万一の事があっても、パラシュートを装着しているので心配無用。

仏壇・仏具・神棚
時計・宝飾・メガネ

徳をなすは
自分なすは
人なすは
天なすは

テラダ時計仏壇店
入善町入膳北銀前 TEL72-2302

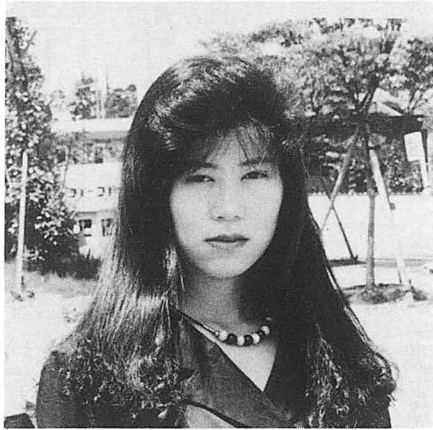
今年の夏は
ほろ酔い気分

Asahi 生

DRYを飲んで
DRYな性格になりきれない
入善まちづくり会議
代表幹事 吉田 昭 ☎72-0361

今月の さわやかさん

No.68



杉本早百合さん 宇奈月国際ホテル勤務 (東寺田・19歳)

昨年の4月からホテルのサービス係として勤務。お客さんを部屋へ案内し、いろいろな注文を承ります。いつも笑顔忘れず、若々しい接待をモットーとしています。お茶やお花の練習も欠かせません。全国各地からたくさんの方が宿泊するため、言葉もまちまち。方言が聞きとれず困ってしまったことも何度かあります。「うちの息子の嫁さんになってくれないか」なんて冗談を飛ばすお客さんいますが、今ではかわすのもけっこう上手になったみたいです。

休日には友達を誘ってよく買い物に出かけます。ファッションには気を使うほうですね。茶やグレー系のシックな感じが好き。なのに、友達から「派手だ」と言われることがあるんです。

理想の男性ですか。健康で活きのいい人。いつも私のそばにいて、喜びも悲しみもいっしょに分かち合える人なら最高ですね。

▼「百聞は一見にしかず」という諺があります。広報紙においても、写真の果たす役割は文章以上に重要かもしれません。皆さんに事実を正確に伝えるためにも、良い写真をたくさん撮りたいです。

▼何年ぶりだったでしょうか。舟見の七夕祭りに行ってきた。きれいな七夕飾りと夜空に映える何百発もの花火、それから大勢の人と熱気。あらためて祭りの華やかさに感動しました。今回はカメラを持参。花火の写真を撮ってみたいからです。これがなかなか難しく、撮るの仕方を本を読んで研究したり、カメラ屋さんに細かなテクニックを事前に教わりました。ところが、写真の出来ばえは一つ。なんとか写ってはいましたが、直に見たときの感動が伝わってきません。「花火の写真が撮れるようになれば一人前」と言われる意味がよく分かりました。

今から300年前の3月、芭蕉は、「行く春や鳥なき魚の目はなみだ」という句を見送りの人びとに残して、江戸を発ち、「おくのほそ道」の旅に出ました。数かずの名句を詠みながら、越中路に着き、黒部川を渡ったのは、残暑のきびしい7月13日

(新暦8月27日)。そして、冒頭の文をしたため、7月15日には俱利伽羅峠を越えて金沢へと向かったのです。さて、これにちなんで、県内各地では芭蕉展が開かれています。当館でも「おくのほそ道」と芭蕉展を企画しました。情報があふれ、交通機関も発達し、気軽に旅を楽しめる今日、なぜか「おくのほそ道」に心ひかれる人が多いようです。煩わしい人間関係のしがらみから解放されたいという願望のあらわれでしょうか。

芭蕉は、「おくのほそ道」の他に「笈の小文」「更級紀行」「嵯峨日記」そして「幻住庵記」などと、多くの紀行文や日記を俳句とともに、世に遺しました。この中の「幻住庵記」は、自筆懐紙と共に、先に2月号で紹介のあった通り、入膳1区にお住まいの米沢一氏が所蔵されております。

この記は、芭蕉の俳文の中で量質とも最高のものと評価されており、「米沢本」として広く世に紹介もされています。その貴重な真跡を、このたび、氏の御厚意により公開展示する運びとなりました。

「おくのほそ道」と芭蕉展



つたものです。簡素な生活を喜んで受け入れ自適に暮らした様子がうかがえます。公開の期日は左記の通りです。この機会にぜひご覧ください。

あなたと図書館

悠悠自適の

芭蕉の一生

72-0180

(直通)

休館日：毎週火曜日

編集室

今月の人口

人口	30,153(-15)
男	14,439(-10)
女	15,714(-5)
世帯数	7,850(-13)
()内は前月比	
6月末日現在住民登録	